

対象国の条件：

研修コース番号：201984825-J002

案件番号：201984825

主分野課題：農業開発/流通・加工・輸出振興

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

北海道・十勝は農畜産物の一大生産地であり、地場の農畜産物を使った食品は日本国内でブランド食品として広く定着している。この背景には、十勝では地域の中小企業や団体による地場食品の開発や品質評価能力を高め、一定の品質を保証するブランド認証に努めてきたことがある。本研修コースは、地域の資源を活かした商品開発の手法や行政との連携事業の事例を学び、参加者の関わる一村一品事業が推進されることを目的としている。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

売れる地場産品開発の支援戦略策定又は売れる地場産品開発が試みられる。

【成果】

- 1) 売れる地場産品とは何か、地場産品開発のポイントや取組を理解する。地域の魅力を理解し、地域資源に独自のストーリーを織り込んだ商品開発・販売の方法や創意工夫を理解する。
- 2) 地域資源を活かした地場産業振興を推進するための行政の役割と重要性を理解する。
- 3) 研修内容を踏まえ、売れる地場産品開発に関する課題を理解し、自国の課題解決に向けた具体的な提案ができる。

【対象組織】

- 1 地場産業支援を行う行政
- 2 地場産業支援に関するビジネス支援サービス提供組織（商工会議所、共同組合、NPO等）
- 3 一村一品事業のカウンターパート・関係組織

【対象人材】

- 1 上記対象組織に従事する者
- 2 当該分野で3年以上の経験がある者
- 3 50歳以下

内容

【事前活動】

インセプションレポートの提出

【本邦研修】

- 1) a. 売れる地場産品の企画・選定：地場の未利用資源の開発・経営手法、市場からの目線の理解、マーケティング基礎など
- b. 売れる地場産品開発のためのバリューチェーン構築：生産、加工、包装、流通などの概観
- c. 売れる地場産品開発のための販売戦略：道の駅、アンテナショップなど
- d. 地域の資源やアクターをファシリテートする好事例：北海道の六次産業化や農村観光など
- e. 地場産品の効果的PR方法とセールスプロモーションの実践
- 2) 売れる地場産品開発における行政の役割や連携体制の構築：行政の支援やブランド化・高付加価値化などの技術的課題解決に向けた支援など
- 3) 地場産品開発や実施体制構築において現地で直面している課題解決に向けた意見交換

本邦研修期間

2019/11～2019/12

担当課題部

農村開発部

所管国内機関

JICA北海道（帯広）

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

一般社団法人 北海道総合研究調査会

**特記事項
及び
ホームページ**